

シンポジウム1: 地域包括ケアと摂食嚥下障害  
～高齢社会におけるリハビリテーションと摂食嚥下～

# 有効な連携事例調査結果報告

## ～連携に効果的であった取り組みと苦勞した点～

大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室

野原 幹司

平成27年9月11日 第21回日本摂食嚥下リハビリテーション学会

# 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 COI開示

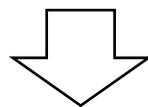
筆頭発表者名：野原 幹司

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係  
にある企業などはありません。

# 有効な連携事例調査結果報告

平成26年度 厚生労働科学研究  
長寿・障害科学総合研究事業

研究班から推薦された  
連携有効事例 26例



報告書回収数 **16**例

- 効果的であった取り組み
- 軌道にのるための工夫
- 苦勞した点

# 効果的であった取り組み

講演会の**主催・開催**

カンファレンス・  
検討会への**参加**

セミナー**講師**担当

**診療の押し売り**



軌道にのるための工夫

診察・検査への**同席依頼**

詳細な  
**紹介状・報告書**の作成

**軌道にのるには半年～2年**

# 苦勞した点

2箇所の**歯科**からの同月の保険請求が認められない

**管理栄養士**との連携がスムーズにいかない

摂食嚥下障害**認定看護師**の訪問の加算点数がない

**半径16km**を超えたところからの訪問依頼